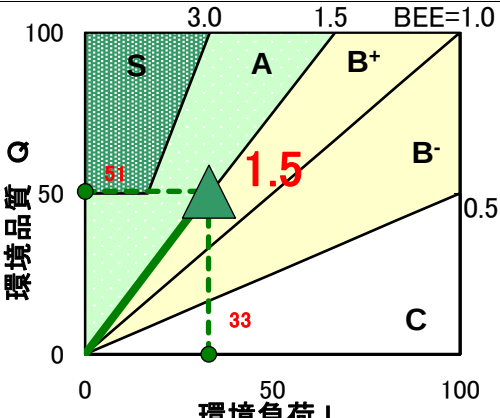
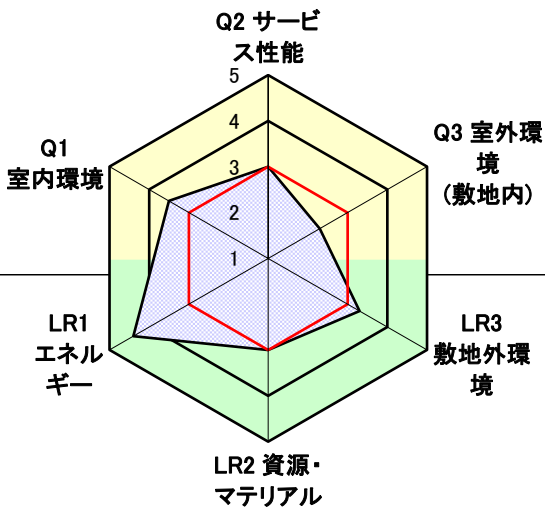


1-1 建物概要			1-2 外観																									
建物名称	(仮称)天王寺区堀越町計画																											
建設地	天王寺区堀越町																											
建築用途	共同住宅																											
建築主	住友不動産(株)																											
設計者	東レ建設(株)																											
敷地面積	1,270.86	m ²																										
建築面積	556.28	m ²																										
延床面積	4,774.36	m ²																										
構造/階数	RC造	/ 地上15階																										
完了年(予定)	2026年5月																											
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																							
A BEE =1.5 S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★ 			★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ 標準計算 <table><tr><td>①参照値</td><td>100%</td></tr><tr><td>②建築物の取組み</td><td>72%</td></tr><tr><td>③上記+②以外の</td><td>68%</td></tr><tr><td>④上記+</td><td>68%</td></tr></table> (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです		①参照値	100%	②建築物の取組み	72%	③上記+②以外の	68%	④上記+	68%	 ラベル表示 有															
①参照値	100%																											
②建築物の取組み	72%																											
③上記+②以外の	68%																											
④上記+	68%																											
2-4 中項目の評価(バーチャート)			Q のスコア= 3.0																									
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5 <table><tr><td>音環境</td><td>3.3</td></tr><tr><td>温熱環境</td><td>4.2</td></tr><tr><td>光・視環境</td><td>2.5</td></tr><tr><td>空気質環境</td><td>3.6</td></tr></table>			音環境	3.3	温熱環境	4.2	光・視環境	2.5	空気質環境	3.6	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0 <table><tr><td>機能性</td><td>3.1</td></tr><tr><td>耐用性・信頼性</td><td>2.9</td></tr><tr><td>対応性・更新性</td><td>3.0</td></tr></table>			機能性	3.1	耐用性・信頼性	2.9	対応性・更新性	3.0	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.3 <table><tr><td>生物環境</td><td>2.0</td></tr><tr><td>まちなみ・景観</td><td>2.0</td></tr><tr><td>地域性・アメニティ</td><td>3.0</td></tr></table>			生物環境	2.0	まちなみ・景観	2.0	地域性・アメニティ	3.0
音環境	3.3																											
温熱環境	4.2																											
光・視環境	2.5																											
空気質環境	3.6																											
機能性	3.1																											
耐用性・信頼性	2.9																											
対応性・更新性	3.0																											
生物環境	2.0																											
まちなみ・景観	2.0																											
地域性・アメニティ	3.0																											
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4 <table><tr><td>建物外皮の熱負荷</td><td>5.0</td></tr><tr><td>自然エネルギー</td><td>3.0</td></tr><tr><td>設備システム効率化</td><td>5.0</td></tr><tr><td>効率的運用</td><td>3.0</td></tr></table>			建物外皮の熱負荷	5.0	自然エネルギー	3.0	設備システム効率化	5.0	効率的運用	3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0 <table><tr><td>水資源保護</td><td>2.2</td></tr><tr><td>非再生材料の使用削減</td><td>3.2</td></tr><tr><td>汚染物質回避</td><td>3.3</td></tr></table>			水資源保護	2.2	非再生材料の使用削減	3.2	汚染物質回避	3.3	LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.3 <table><tr><td>地球温暖化への配慮</td><td>4.2</td></tr><tr><td>地域環境への配慮</td><td>2.9</td></tr><tr><td>周辺環境への配慮<td>3.0</td></td></tr></table>			地球温暖化への配慮	4.2	地域環境への配慮	2.9	周辺環境への配慮 <td>3.0</td>	3.0
建物外皮の熱負荷	5.0																											
自然エネルギー	3.0																											
設備システム効率化	5.0																											
効率的運用	3.0																											
水資源保護	2.2																											
非再生材料の使用削減	3.2																											
汚染物質回避	3.3																											
地球温暖化への配慮	4.2																											
地域環境への配慮	2.9																											
周辺環境への配慮 <td>3.0</td>	3.0																											
3 設計上の配慮事項																												
総合			その他																									
ZEH-M Oriented基準を満たし、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。また、良好な都市環境を形成するよう努める計画とした。			特になし																									
Q1 室内環境			Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)																							
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5を満たす計画とし、快適な室内環境を整えられるよう努めた。また、F☆☆☆☆の内装材をほぼ全面的に採用し、空気質環境を向上させている。			更新必要間隔が長い配管材料を使用し、耐用性を高めている。		敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地を設け、良好な緑地環境に配慮している。																							
LR1 エネルギー			LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境																							
適切な断熱材を採用し外皮熱負荷抑制に努め、人感センサー付きLED照明や換気DCモーターの採用により省エネルギーに配慮している。			オゾン破壊係数や地球温暖化係数の小さい発泡剤を使用する断熱材を採用し、汚染物質の使用回避に努めた。		省エネルギー化によりライフサイクルCO ₂ 排出量を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。																							

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.2
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	緑地を確保することにより、地表面温度や地表面近傍の気温等の上昇を抑制することに配慮した。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える水準とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]	
	等級4を超える (相当)	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	0.65	0.65	-